

もろ剛 茂呂つよし 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

救命救急センター指定へ前進!

八千代医療センター新棟建設で



医療・保育問題などで質問する茂呂県議

茂呂議員 私

地元の八千代市では、人口が増加しており、京成線沿線では高齢化が進んでいます。今後の高齢化の進展に伴い、救急医療に対するニーズも層高まってくるものと思われま

近年、救急医療の搬送件数は、高齢化の影響や不要不急の救急車の要請などにより、増え続けていると聞いています。しかし、八千代市には残念ながら3次救急医療機関となる救命救急センターがありません。

市内の重症の患者がどこに搬送されるかと言うと、主に八千代医療センターが対応するほか、東葛南部保健医療圏の他市の病院や、他の医療圏の病院で対応している状況です。

東葛南部保健医療圏における救急医療体制の整備状況や必要な取り組みについてどう考えるのか。

保健医療担当部長 同 医療圏は、従来から救急搬

送の件数が県内で最も多い医療圏であり、県が昨年9月から10月にかけて実施した調査でも、搬送件数が1万2千件で県全体の4分の1以上を占めています。

このため、県では、24時間365日体制で重篤な救急患者に対する救命救急センターを2カ所配置するなどの、救急医療体制の充実を図ってきました。

病院側も指定を要望

茂呂議員 八千代市内には、東京女子医科大学付属八千代医療センターがあり、小児から大人まで幅広い救急医療を提供しており、また、本県に2つしかない総合周産期医療センターとして、リスクの高い妊娠に対する医療や、高度な新生児医療などを提供し、周産期救急の受け入れ数も全国有数と聞いています。

病院側も救命救急センター化に前向きであり、八千代市や市医師会からも救命救急センターに指定されるよう、県あての要望が出されていると聞いています。

現在、八千代医療センターは新病棟を増築中であり、来年度には竣工予定とのことですので、この機をとらえ、救命救急センターの指定を検討することは非常に

望しており、今後、救急・災害医療審議会での承認の可否が議論される予定です。県としては、同病院が救命救急センターに指定されることにより、東葛南部医療圏の救急医療体制のさらなる充実が図られると考えています。

昨年4月の県議選で初当選を果たした八千代市選出の茂呂剛(もろつよし)県議は、昨年9月議会に続いて、新年度予算案を審議する2月定例県議会でも、早くも2度目の一般質問に登壇し、活発な議会活動を展開しています。

茂呂県議は、市内の救急医療体制の整備・充実を求めて発言し、東京女子医科大学付属八千代医療センターを県の救命救急センターに指定するよう求め、県も審議会での承認を待つとしながらも、指定に前向きな答弁を行いました。また、保育所の待機児童解消を求めて、県の新組織「子育て支援課」の取り組みなどをただしました。茂呂県議の議会での主な質疑を特集しました。

2月県議会一般質問に登壇

茂呂つよしプロフィール

経歴

- ・1968年 八千代市に生まれる
- ・1987年 八千代松陰高校卒業
- ・1992年 秀明大学卒業
- ・1992年 イワキ(株)勤務
- ・2006年 八千代市議会議員当選
- ・2010年 八千代市議会議員再選
- ・2014年 第36代八千代市議会副議長
- ・2015年 千葉県議会議員初当選

現職

- ・県議会 環境生活警察常任委員会委員

●県政と八千代市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

茂呂つよし 県議事務所

〒276-0046 八千代市大和田新田1054-50
TEL047-480-0244 FAX047-455-8005

待機児童解消へ向け提言

保育士確保が大きな課題

茂呂議員 今年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」では、住民に最も身近な市町村が主体となつて、「必要とするすべての家庭が利用できる支援」を目指して、地域ニーズに応じた子育て環境の整備が計画的に進められています。

少子化が進み、本県の就学前児童数は年々減少していますが、保育所の待機児童は依然として減らない状況にあります。特に、待機児童のうちゼロ歳から2歳までの低年齢児の占める割合は、90%にも上ると聞いています。

新制度では、このような

低年齢児を対象にした小規模保育事業が制度化される

など、保育所と合わせた受け皿整備が進められていますが、施設整備が進むにつれ、従事する職員、特に保育士の確保が大きな課題となつていきます。そこで、保育環境に関する県の現状認識と、これまでの取り組みを

「子育て支援課」を新設

茂呂議員 平成28年度の県の組織見直しでは、「子育て支援課」が新設され、新しい組織によつて、保育環境の整備が一層進むことを期待しています。新設される「子

育て支援課」では、どのような取り組みを行っていくのか。

健康福祉部長 新しい組織では、これまでの保育所等の施設整備や地域子育て

を地域全体で支え、保育環境の整備を図る「子ども・子育て支援新制度」が、今年度から開始されました

が、保育所の待機児童の解消は、都市部を中心として重要な課題となつていきます。このため県では、国の基金

等を活用した民間保育所などの施設整備に対する助成を行うとともに、定員増を伴う整備に対し、県独自の乗せ補助を行うなど、施設整備を促進しているところ

です。また、平成25年8月に「ちば保育士・保育所支援センター」を開設し、潜在保育士の復職に向けた就職のあつせんや研修などの支援を行います。保育士の確保に努めます。

幕張千葉NT線の整備要望

茂呂議員 幕張千葉ニュータウン線は、都市計画道路八千代西部線などの既存の都市計画道路などを活用し、千葉市臨海部から習志野市や八千代市を經由して千葉ニュータウンに至る幹線道路で、交流基盤の強化や沿線地域の渋滞を緩和する重要な道路です。

今後、土地区画整理事業の進展に伴い、人口増加が見込まれ、相当の交通量が発生すると思われ

ます。増大する交通量に対応するため、土地区画整理事業区域から北側区間について整備が必要だと考えています。県として、この区間の整備について、どのように考えているのか。

高橋副知事 都市計画道路3・3・27号八千代西部線の西八千代北部特定土

地区画整理事業区域の北側の区間については、土地区画整理事業区域と県道船橋印西線との円滑な交通アクセスを確保するために重要だ

と考えています。この区間の整備は、周辺道路の整備状況や、区画整理事業の進展に伴う交通の変化などを見ながら、八千代市など関係機関と検討してまいります。

要望 幕張千葉ニュータウン線については、八千代市と船橋市にまたがる広大な陸上自衛隊習志野駐屯地があり、一部、都市

計画がなされていません。このため、八千代市内の渋滞解消や千葉市臨海部へのアクセス向上のためには、国道296号より南側区域についての道路ネットワーク強化が必要だと考えます。そこで、国道296号から南側区域について、早期に計画の具体化を図るよう要望します。

温暖化対策の実行計画

茂呂議員 地球温暖化対策の実行計画の検討状況はどうか。また、今後どのように進めていくのか。

森田知事 現在策定中の実行計画では、「再生可能エネルギー等の活用」「省エネの推進」、交通渋滞の緩和や森林整備などによる「地球環境の整備・改善」ごみの減量やリサイクルなどによる「循環型社会の構

成」の4つの基本的な方針のもと、温室効果ガスの排出削減に向けた数値目標を掲げ、目標達成のための施策を定めていくこととしています。

現在、環境審議会でご審議いただいておりますが、今後、パブリックコメントなどを通じて、幅広く意見を伺い、来年度半ばごろを目途に策定してまいります。

女子選手のキャンプ誘致

茂呂議員 2018年世界女子ソフトボール選手権大会の本県での開催が決まりましたが、出場国の事前キャンプ誘致を積極的に

行つてはどうか。

総合企画部長 県では誘致に前向きな市町村に対し、必要な情報提供しており、

必要に応じて、市町村が連携して出場が見込まれる強豪国に、競技施設や宿泊施設等のセ



自席から立ち上がり、執行部へ要望する茂呂議員

市民の声に寄り添って！

要望 保育現場の人材確保は、施設整備より深刻だと思つていま

す。将来の子どもたちへさらなる支援を要望します。

要望 市町村がキャンプ誘致を行うに当たり、県が中心となつて周辺自治体との広域連携による

取り組みを進めるなど、本大会に参加するチームがで

きるだけ多く県内でキャンプを実施できるよう、市町村への支援を強く要望します。